

# こんなことをします！（活動計画）

## ●研修会開催

12月7日（土）にボランティア・保護者を対象とした研修会を計画しています。子どもの特性と支援の方法を再確認し、支援の仕方のブラッシュアップを図る研修です。ひまわりでは研修会を月に1回開催して子ども支援力を向上させています。

## ●クリスマス会&ふれあいレストラン

12月21日（土）に子ども達と保護者、ボランティアスタッフが集い、少し早めのクリスマス会&ふれあいレストランを開催します。楽しい交流を通して、子ども達の個性の新たな発見や普段あまりできない保護者との歓談などをしながら、皆で賑やかに過ごしたいと思います。ふれあいレストランのメニューは当日のお楽しみです！

## ●学校開き&新年会

学校開き&新年会を1月18日（土）に開催します。気持ちを新たにスタートを切るひまわり最初の催しです。ボランティアの今年の抱負などを聞きながら、ひまわりの子ども達がより良い年になるようスタッフの繋がりを密にする機会とします。

## ●どんど焼き

1月11日（土）にさつきが丘小学校ボランティアの会に所属する「郷土史の会」が主催する「第15回下台のどんど焼き」が開催されます。ひまわりは、2012年からその後援団体として参加してきました。

2025年の「どんど焼き」も、前日準備から積極的に関わり、フリーマーケットや焼きそばなどの販売、子ども向けにクレーンゲームなどを行い盛り上げたいと思います。そして1年間の無病息災を祈ります。



昨年のどんど焼き

## ボランティアの先生を紹介します

VOL  
27

### 藤森 美代先生

先生は、新潟県出身で地元しらとり台にお住まいの主婦です。お子さん達は成人しておりお孫さんもおります。お年を疑うくらいお若くて動作も生き生きしております。ひまわりでは、子ども達の居場所支援から学習支援までオールマイティの活躍ぶりです。子どもの個性や状況を即座に把握しての柔軟な対応のために、先生に支援を受ける子ども達の顔には安心感がいっぱいです。「地元ですので、ひまわりの子ども達との触れ合いは長く続けたい」との嬉しいお言葉もありました。

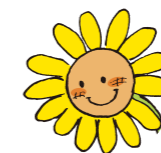
新たなひまわりの戦力になることは確実です。

趣味 卓球、手芸、山岳展望、公園散策

### ひまわりの各コースと現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分（ひまわり学園 9:00～12:10）
- 通信制 オンラインを通してゲームから強化支援までひまわり目線の指導を行います。指導時間と内容は、本人と相談の上で行います。
- 現況 生徒数：（約）60名 / ボランティア：（約）20名  
時程：9時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）

ボランティアスクール  
「横浜みどりの学校ひまわり」



# ふれあい

学校だより 2024年12月号 No.68

こんな学校があっていいかも  
（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、13年前に開設されました。

## Nちゃんの思い出

### — 50年前の教育実践の回顧 —

校長 渡辺 正彦

今から50年前に私は、市境に在る市立小学校に新任教員として赴任しました。ニュータウン開発前のその地域は、自然に溢れており、体育の授業をしていると校庭を野ウサギが横切りました。家庭訪問に行くと庭先の木に吊した小鳥籠にヘビが入り、小鳥を食べて腹の膨らんだヘビが出られなくなっている光景に出会うこともありました。

中心部から離れて他市との境界にあるその学校の先生達は、自分達を「国境警備隊」と呼んでおりました。3年1組の私の組の朝の会はいつも「山の子の歌」から始まりました。

28才の新米教師のその組にはアイドルのNちゃん（男子）がおりました。Nちゃんにはかなり重度の知的障害がありました。山の上にある学校から山を下り毎日のように家庭訪問をする私に母親はいつも「先生、私の育て方がいけなかったのです」と涙しておりましたが新米教師の私は、ただ母親の悩みをうなずいて聞くだけでした。現在なら特別支援学級や特別支援学校に行くはずのNちゃんですが、50年も前は近くにそのような施設はありませんでした。新米教師の私は他の子ども達の指導で手一杯でとても彼に合った指導などできませんでした。彼は、きっと45分間がとても苦痛だったことでしょう。時々鉛筆で机をたたいてストレスを発散しておりました。

そんなNちゃんを組の子ども達は差別や馬鹿にすることもなく普通に接しておりました。新米教師の私は、子ども達に人権や障がい者差別について諭す余裕も知識もありませんでした。そのため私自身はNちゃんとただ普通に接して普通に指導しておりました。3年間も私に担任をされたNちゃんは、6年になり、日光修学旅行に行き、無事に帰ることができました。修学旅行の間、私が彼に手を焼くことは皆無でした。新米教師と知的障がいのあるNちゃんを2日間にわたって組の子ども達が助けてくれたのです。

成人してからのクラス会での子ども達の告白です。「先生、実はNちゃんが寝小便をしてしまったんです。先生に言うとNちゃんが怒られるのでみんなで相談して布団を丸めて押し入れに隠しました」と笑顔で語る子ども達を私はとても眩しく感じました。

最近では障がいの有無に関わらずみんな一緒に教育をするインクルーシブ教育（統合教育）が叫ばれておりますが50年も前の我が組は、意識も知識もない子ども達主導のインクルーシブ教育が自然に行われていたのです。

まもなくNちゃんは還暦を迎えます。



# こんなことしました! (活動報告)

## ひまわり運動会

11月16日(土)さつきが丘小学校体育館で「ひまわりミニ運動会」を行いました。学校と放課後キッズクラブの好意により、学校の施設をお借りしての初開催です。

子ども達と大人で意見を出し合い、計画と準備をして、ひまわりらしい内容となりました。障害物リレーや徒競走、借り物競争、玉入れ、パン食い競争などをしました。子どもたちは、フルパワーで活動し、大人たちも真剣に競技に参加しました。皆競技を楽しみ、無事に終了することができました。この小さな運動会でも楽しい時間を共有することができました。



集合写真

運動会スローガン



つなひき



借り物競争



パン食い競争



ひまわり玉入れ



徒競走

## 学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの子どもたちを積極的に支援します。支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。体験期間の2週間は無料です。

お問い合わせは TEL 090-9201-3992 渡辺まで



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。

## 福祉バザー

11月17日(日)10時から青葉台にある大成祭典駐車場で行われた「福祉祭り」にバザーと子どもたち向けのミニクレーンゲームで本校も出店しました。

ボランティアの皆様方の他に、地域の方もお手伝いをしていただきとても助かりました。天気が良くお手伝いした子どもや大人は、汗をかきながらの活動でした。

収益は子ども達の教材など本校の運営に充てます。



## 農園だより

ようやく気候が落ち着いてきました。冬にむけて、ブロッコリー、白菜の成長が楽しみです。はやとうりは、現在販売中です。



はやとうり



ブロッコリーとはやとうり

## ひまわりではボランティアを募集しています

活動日 月・水・金・土曜日 午前10時～午後2時30分  
(週1回、午前・午後だけでも可能)

活動内容 ●子どもの見守り ●学習指導  
●農業体験・にわとりの世話  
●保護者・子どものカウンセリング など



お問い合わせ先 TEL 090-9201-3992 渡辺